

健 康

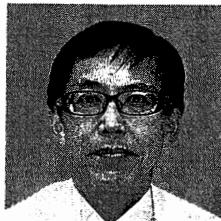
あすの
紙面

高齢の妻の定期預金

認知症で解約できず

紙上 診察室

久田 哲哉さん



夏の咳 1ヵ月ほど続く

A

咳が長引くことは珍しくありませんが、二週間以上続き、良くならない場合には、内科、できれば呼吸器内科を受診した方がいいでしょう。

呼吸器内科を受診して

Q

一ヵ月ほど前から咳が出ます。熱はなく、鼻水は出ておらず、アレルギーもありません。受診すべきですか? (男性・40歳)

*

紙上診察室への投稿を募集します。住所、氏名、年齢、電話番号(紙面では匿名)を書き、右下のあて先へ。採用者には連絡します。

レルギー性咳嗽)、喫煙者では慢性閉塞性肺疾患(COPD)などが考えられます。痰の有無や、咳の出るタイミング、アレルギー素因、喫煙歴の有無などを参考に診断していきます。

感染後咳嗽は、風邪などの感染症の多い冬を中心起こりやすいのですが、夏の咳の場合には、夏型過敏性肺炎や空調肺の可能性も考えられます。前者は、築数十年の木造住宅に繁殖した主にカビによるもので、後者はアレルギーが原因です。

相談者はアレルギー症状がないとのことです。が、夏の花粉症(カモガヤなどイネ科植物など)もあります。鼻水などの鼻炎症状は目立たず、咳が唯一のアレルギー症状ということもあるため、専門医を受診し、正しい診断を付けることが重要です。

検査で肺に影が認められる場合、肺がんや肺結核の可能性もありますが、最近、結核菌以外の抗酸菌の感染で起こる非結核性抗酸菌症なども増えています。影の様子次第で詳しい検査をするかどうかを決めます。治療は咳の原因となる病気に応じて行います。

(世田谷通り桜内クリニック院長・東京通信病院客員部長)